



WAVE 45 号

ウェーブ

2011年4月

2・3 ワーカーズ・
フォーラム報告

4 INFORMATION

地域を支える力をつけたい！

ワーカーズで食べていくために

～若者が集えるワーカーズづくり～



第1回埼玉ワーカーズ・コレクティブフォーラムが開催されました
2011年2月26日(土)生活クラブ生協埼玉本部 参加者 171名
主催：埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会に集う仲間は現在 36 団体(3 月末現在)。20 年以上のキャリアを誇るお弁当屋さんから、できたばかりのたすけあい居場所ワーカーズまでさまざまです。この仲間が地域を支える力はまだまだ小さいかもしれませんが、けれど、一つ一つの課題を乗り越えて若者も集える力を蓄えることを目指します。今回のフォーラムもその方向性をみんなで確認し、ひとり一人の胸に大きな成果を残したことと思います。

コミュニティビジネスが地域をつなぐ

基調講演 持続可能な地域社会とコミュニティビジネス

講師：風見正三氏(埼玉在住) 宮城大学事業構想学部教授



講演テーマである「持続可能な地域社会」とは、経済優先社会が引き起こしている弊害を解決するための一つの考え方です。

環境・社会・経済がともに持続可能である地域社会の構築がさまざまな課題を解決すると考えます。市民が起こす社会貢献とビジネスを両立させた事業体、環境を守る目的の団体、地元の資源(自然・歴史・人材などいろいろ)を生かしたまちづくり、交流拠点の創造をする事業体などが増えることで、社会が経済だけでない豊かさを得ることができます。市民が主体となり、地域に必要なものやサービスを提供する自分の仕事起こし。それは地域の元気づくりにつながります。

風見氏の紹介する事例資料にはワーカーズ・コレクティブのこともしっかり載っています。ワーカーズ・コレクティブの社会性は知る人ぞ知るところとなっているのです。

社会に貢献するためにはまさに自らが持続可能な事業体でなければなりません。そのような社会性あるコミュニティビジネスが経営力を強化するには、市場分析など企業の手法も取り入れていくことが必要になります。行政ともうまく手を組んで持続可能な社会に貢献することが求められています。



参加者の声

日常業務に追われていると、つい忘れがちであるが、いろいろ経営とか勉強する必要があるとわかった。

勉強になった。もう少しゆっくり聞きたかった。

行政と連携した具体的事例の話が聞けて興味深く、自分のワーカーズと地域のつながりについて、もう一度考えたいと思った。



第1分科会 「多様なニーズに応えて」

社会に貢献するワーカースの可能性を実感

お弁当「旬」、コミュニティレストラン「青いそら」、たすけあい「輪っはっは」の3ワーカースの発表があり、それぞれの活動が今の社会で必要とされていると感じました。高齢化社会の中、自分自身も安心して働きまたイザという時には手を差しのべてもらえるシステムがつけられつつあると思います。

今まで「生活クラブ」というと「安心な食材」という認識のみが強かったのですが、基調講演でも語られたように、社会の中でのワーカースという存在に大きな可能性を感じました。そしてそれらに参加できる働き方というのはすばらしいと思いました。

ワーカースつくし 山本恵美子



第2分科会 「法人格の必要性」

ワーカースがワーカースらしくいるために

事例報告者として、数年前から法人格(ワーカース法で)の取得を第一希望に話し合いを重ねてきたワーカース「SOU(走)」の現状をお話ししました。

すでに企業組合を取得している配送ワーカース「クローバー」の話から、社会保障の充実など働く場を整備する手段として法人格は使えると感じた反面、NPO 法人格を取得間近のたすけあいワーカースの話には、法人格を取得するまでの期間“雇われない働き方”というワー

カース本来のあるべき姿を押し殺して書類を作成する苦痛に、想像をめぐらせていました。

ワーカースがワーカースらしくいるために「ワーカース法の制定は必須である」とその場にいた誰もが感じたのではないのでしょうか？そのためにもワーカースの数をもっともっと増やして社会的認知度を上げ、一日も早くワーカース法が制定されるように声を上げ続けていかなくてはと思いました。

ワーカース SOU(走) 高木友紀



第3分科会 「経営力」

事業を客観的にみてみよう

配送「そら」、たすけあい他「an」衣類のリフォーム「いと」の3つのワーカースがそれぞれの経営状況や課題を発表しました。その後用意されたフォーマットの質問項目に回答し、分科会に参加したワーカースが自分たちの分を含めた4段の表を埋めるという形のワークショップを行いました。

ワーカースの経営はそれぞれが手探りで作

り上げたもので、さまざまです。その内容を客観的な「経営を考える項目」にあてはめることがまず経営力アップには大事だと気付かされず。フォーマットにはかなり高度な質問が並び、半分で時間切れになり後半の模範解答が聞けなかったことは残念でした。

編集ワーカース・ふれあ 福島せい子

初めてのフォーラムから次につなげること

埼玉では新規ワーカーズの設立が進み、今年度36団体となりました。近年の厳しい不況下でも自分たちの思いや事業を日々行っているワーカーズや、立ち上げたばかりのワーカーズにとって、お互いの運営や事業の課題を共有できる場こそ明日のワーカーズ運営への大きなエールになった事でしょう。

雇用情勢や政治情勢の不安が言われる今、ワーカーズという働き方こそがその公共性を持って地域を創り、人をつないでいくものであると思

ます。ひとりひとりがワーカーズという働き方と社会性（公共性）を理解し、事業を続けていくこと、思いを伝えて拡げていく事こそが今後必要となります。輪を大きく拡げ、協同することでもっと強固な事業体を創っていきましょう。

埼玉ワーカーズ連合会会長 後藤成美



埼玉の仲間のパワー結集！ フォーラム実行委員会、 楽しく頑張りました

2年に一度、研修・学習会の位置づけで、フォーラムを開催するとの総会決議を受け、2010年9月より、実行委員会が設置されました。

初めてのことなので、模索しながらのことでした。準備から当日、報告集の作成に至るすべての工程で、実行委員と連合会運営委員が力を合わせました。特に以下のやり方が、みんなの気持ちを1つに盛り上げていったのではないかと思います。

実行委員会が設立される以前に各ワーカーズにアンケートを取り、希望企画内容・企画日時を把握したうえでの開催であった。

実行委員の構成が運営委員2名と5つのエリアから1名ずつの選出であり、各エリアのワーカーズへの情報共有がスムーズであった。

交流会でエリア対抗の出し物を企画し、エリア内のワーカーズの距離が近くなった。

ベテランの方が未経験の実行委員とともに企画運営してくれた。

さらに2009年度埼玉でワーカーズの全国会議をやり遂げたことも大きな力になったと思います。これに関わったメンバーは、ワーカーズの仲間のパワーを感じ取り感動したと思います。その



分科会後、ワーカーズ有志のスペシャルマーケットもにぎわいました

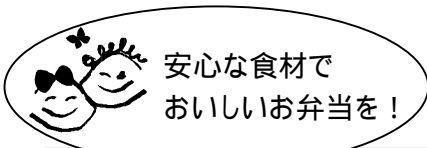


エリア対抗の出し物は大好評。越谷エリアは南京玉すだれで喝采をあげました

感動が今回のフォーラムを成功させた一番の力であり、企画段階・当日と一貫して、皆のフォーラムへの関心の高さ、期待するものを強く感じました。

今後も、フォーラムをやり遂げた経験をもとに、企画立案実行するスキルを積み重ねて、埼玉のワーカーズの力を高めていけたらと思います。

フォーラム実行委員 大熊真弓



新しい仲間が増えました

『雪花菜(おから)くらぶ』



生活クラブの牛乳との出会いから始まり、平田牧場のお肉、醤油、ケチャップ等、こんな消費材で料理ができたらと、食のワーカーズ「雪花菜くらぶ」を立ち上げました。添加物の少ない消費材を使っただけの料理は楽しみです。お客様の顔が見える、作り手の顔が見える、そんなお弁当を作っていけたらと思っています。

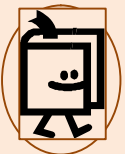
今は目の前の仕事や対応に追われ、ワーカーズ運動の理解不足もあって右往左往の毎日です。「雪花菜くらぶ」はまだまだ歩き始めたばかりですが、仲間ができて、つながりが生まれ、新しい発見がたくさんあります。運営はとて大変ですが、始めたからにはメンバー皆で力をあわせもっともっと輪を広げていこうと思っています。

代表 岩沢はる

〒369-0132 鴻巣市前砂 287 048-548-2778



「第9回ワーカーズ・コレクティブ
全国会議 in 埼玉」の記録集
WNJ 発行 1,200円



「ホップステップワーカーズ
起業のためのガイドブック」
埼玉 W.Co 連合会発行 500円

「地域で暮らし続けるために 共に支える
ワーカーズコレクティブの福祉事業事例紹介」
WNJ 発行 500円

ワーカーズをもっと知りたい、
もっと広めたい。
そんな人たちのための冊子 & 出前講座



ワーカーズってなに？ 出前講座

ワーカーズのことを知りたい方、
働き方に興味ある方、
ワーカーズを立ち上げようとしている方
講師派遣します



2時間 1万円 + 交通費
(関係団体は 5千円)

WNJ: ワーカーズコレクティブネットワークジャパン(全国組織です)

あとがき

大きな被害をもたらした東日本大震災。被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げ、犠牲となった皆様のご冥福をお祈りいたします。いまだ先の見えない未曾有の事態からの復興は簡単なことではありません。これからの社会のためにワーカーズ・コレクティブができることは何かを考え、みんなで一緒に頑張っていきたいと思っております。(ふ)

ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行・・・埼玉ワーカーズコレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者・・・後藤成美 編集・・・広報チーム 福島/齊藤/大塚

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話 048-844-0221 FAX048-838-7884

<http://saitama-workers.com/>